

授業づくりを考えてみましょう

学年	小 ・ 中 年
教えること	
活用する資料 など	

授業展開（書き方は自由）	
段階・時間	学習活動

第7回 メディアとのつきあい方学習セミナー

「図工とメディつき」ワークショップ資料

2008/2/23

ポスター分析のためのヒント

ポスターには「的確に伝える」ための多くの表現の工夫がされています。深く、細かく分析しようとするればさらに多くの視点を持つことができますが、ここでは子どもにも理解できる程度の、簡単な分析のための視点を集めてみました。

色	<p>文字、絵や図、写真、ロゴ、背景などの全体としての色あいや、個々の色の使い方など。</p> <p>色によって、暑い、寒い、楽しい、さびしい、希望、不安など文字では伝えきれないものを瞬時に伝えることができる。</p> <p>また、色の配置を工夫することで、特に伝えたい部分に意識を集中させるなど、思考や感情をコントロールすることができる。</p>
写真(絵)	<p>何を写す(描く)か、どのように写す(描く)かなど。</p> <p>絵や写真を使って見せることにより、文字で表すと膨大な量になるような情報も、瞬時に伝えることができる。</p> <p>また、順光、逆光、アップ、ルーズ、ハイ、ローなど見せ方を変えることにより、威圧感や広がりなど文字にはしにくい感覚的なものも伝えることができる。</p>
画面構成	<p>画面全体の色の配分や、写真(絵)と文字の配置など。</p> <p>厳正な感じや安定感、リズム感、不安定さなど、文字にはしにくいものを瞬時に伝えることができる。</p>
フォント	<p>文字の形や大きさ、色など。</p> <p>文字に書かれた内容を伝えるだけでなく、若々しさや、日本らしさ、誠実さなど感覚的なものも同時に伝えることができる。</p>